

午後Ⅰ試験

問1

問1では、Webサービスのシステム開発プロジェクトを題材に、十分な品質の顧客体験価値（UX）の提供に向けてのニーズ収集、品質検証方法などについて出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問2の正答率は平均的であったが、ニーズを提示した人自身が、そのニーズの実装を検証することにとどまる解答が多かった。UXの適合性確認の際には、UXに理解を示していることが重要であることを読み取った上で、正答を導き出してほしい。

設問3(1)は、正答率が低かった。誤答としては、UXの適合性検証が繰り返し行うものである点だけ記載し、設計段階ではなく結合テスト段階で検証できる内容に言及できていないものが多かった。“設計段階”と“結合テスト段階”の差異を本文から把握し、本番稼働環境に近い環境、本番データに近いデータの検証が、より実際のUXに近い形での適合性検証を行うために重要となることを理解してほしい。

問2

問2では、プロジェクト作業と制度改正作業とが並行して実施されるプロジェクトを題材に、プロジェクトマネジメントの方法（以下、PMMという）を決めていく際の計画の作成について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1(2)は、正答率が低かった。“課題への対応方針の対立”や“課題対応の合意に時間を要する”と誤って解答した受験者が多かった。実際に特定の課のPMMを適用する際に対応しなければいけない事項や時間の掛かる要素など、PMMを適用する際の問題点に着目して、正答を導き出してほしい。

設問2(3)は、正答率が平均的であった。本問は、マトリクス型組織における、プロジェクトマネジメントとラインマネジメントのコンフリクトの解消に関する設問である。コンフリクトの結果が、本文中の“本プロジェクト又は制度改正作業のいずれかで作業の進捗遅れが発生”であり、この原因は“各課長が設定した各メンバーの稼働割合”である。解決に向けた一次的な対策は“課内での調整（稼働割合の見直し）”だが、それでも対応が困難な場合には“課の垣根を超えた（部としての）稼働調整”を行う必要があることを理解し、正答を導き出してほしい。

問3

問3では、サービス開始日厳守のネット専業銀行の立ち上げに伴うシステム構築プロジェクトを題材に、変更管理プロセスの修整やチームのマネジメント計画の修整について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1(3)は、正答率が平均的であった。スケジュール遅延の発生確率を30%未満にするために、一般的な手法として予算の追加投入について着目した解答が散見された。Hプロジェクトは、スケジュールを厳守しつつ、優先度を考慮しながら予算内で最大限柔軟に対応する方針であること、及び一定の余裕をもって予算を確保していることから、予算の追加よりも、柔軟な開発項目の入替えが重要になってくることを理解して解答してほしい。

設問2(3)は、正答率がやや低かった。適応型マネジメントができるリーダー育成について着目した解答が多かった。問われている“H銀行の必達目標”は1年後の銀行業務の開始であり、これを実現するためには、過去の教訓からチームのパフォーマンスを最大化することが重要であることを理解してほしい。